

教 育 相 談

本校では、お子さんのすこやかな成長を保護者や地域みなさんと一緒に育んでいけるよう、教育相談を行っています。

相談について

◇受付

- ・随時行っています。(電話:0175-26-2210)

◇相談日・時間

- ・教育相談は、月～金曜日の 10:30～11:30 で行っています。(事前にご都合の良い日をお知らせください。)
- ・未就学のお子さんには、希望に応じて、**未就学児教室**(定期の教育相談)を行っています。(隔週で水曜日 14:15～15:15 と木曜日 15:15～16:15)
- ・就学しているお子さんには、定期の相談は行っていないが、保護者の希望やお子さんの発達の様子に応じて相談日や時間を設定しています。

◇相談内容

- ・着替え、食事、トイレについて
- ・人との関わりについて
- ・ことばの育て方について
- ・遊びの広げ方について
- ・就学について 等

※お子さんの活動を通して、支援方法や情報の提供を行っています。また、本校の学校見学や体験学習も行っています。

未就学児教室を行うにあたって

◇早期支援計画

支援の目標、内容、方法を明確にして取り組んでいます。保護者のニーズを取り入れ、将来を見据えた支援目標、支援内容の設定を心がけています。

◇保育園・幼稚園・施設や小学校との連携

保育園・幼稚園・施設の担当の方と連携して、お子さんのいろいろな場面の活動の様子について情報交換し、支援を考えます。また、就学前のお子さんについては、入学を予定している学校と情報交換しています。

未就学児教室に来ているお子さんのお母さんからのおたより

家のトイレに座れないのですが、前回の未就学児教室では便座に座ることができて良かったです。お盆の時期に体調を崩して病院に行った際、売店でアイスを買ったのですが、後日受診した時に一目散に売店に行こうとしていました。たった一度のことをしっかり覚えていたようです。大好きなアイスが売っている場所は忘れないという思いが伝わってきました。(笑) 最近、泣くことが増えたと思います。自分の思っていることが伝わらないもどかしさやストレスが少なからずあるのではないかなと感じています。

担当者からお母さんへ

「病院の売店で買ったアイスが美味しかった」という経験が一目散に行こうとした理由だったのでしょうか。でも、病院に入ってからすぐに売店に向かわれては、お母さんも困るのではないのでしょうか。「病院での診察や会計が全部終わってから1つ買い物をする」など、ルールを決めておくことが大切です。場所の写真やイラストをカードにして順番に見せることで、「これとこれが終わったら買える」という見通しをもつことにつながります。慣れるまで時間が掛かるかもしれませんが、どんな風に作ればいいのか、どうやって使えばいいのか、一緒に考えてみませんか。

未就学児教室の様子

◇個別活動

- ・個別に課題に取り組んだり、人との関わり方を学んだりします。

◇自由遊び

- ・主に遊戯室の遊具や玩具で遊んだり、大人と関わったりする活動を行っています。

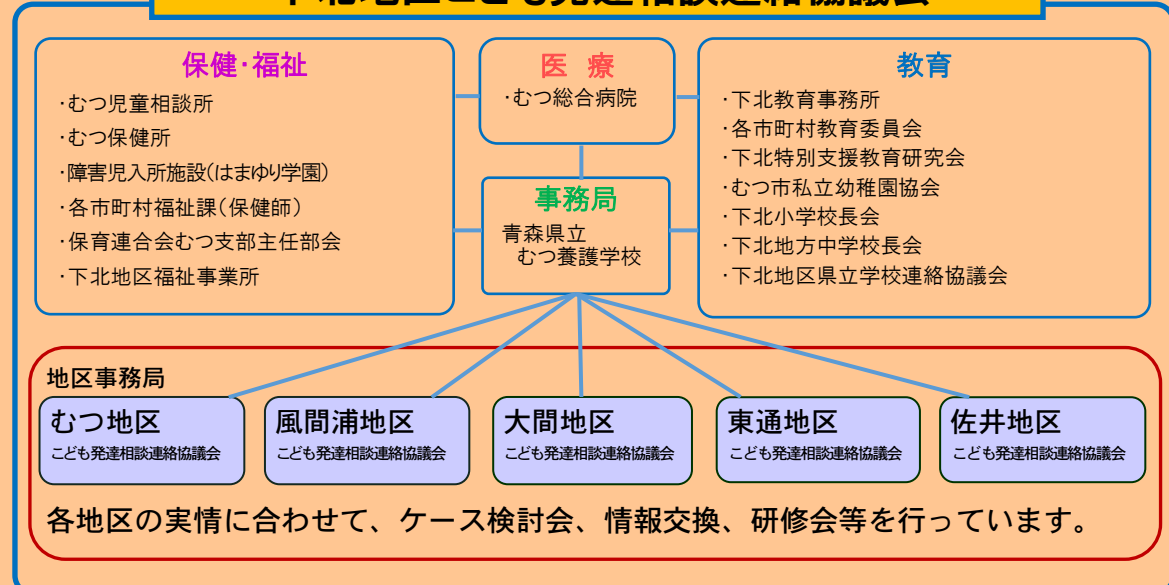
◇保護者との教育相談

- ・お子さんについて気になっていることを担当者と話し合います。



関係機関との連携について

下北地区こども発達相談連絡協議会



「下北地区こども発達相談連絡協議会」

で、関係機関が一堂に会し、教育相談や支援の在り方について情報交換や研修を行い、相談支援ネットワークの充実を図っています。

●下北地区こども発達相談連絡協議会 運営委員会(5月、12月)

内容：事業報告
事業計画
情報交換

●下北地区こども発達相談連絡協議会 研修会(7月)

内容：講話